

受賞者のことば

このたびは、自由都市・堺 平和貢献賞を受賞させていただくことができ、大変光栄に思います。

また、広島の地にある私たちの小さな会を堺市の皆様が認めてくださったことに心より感謝いたしております。

今から 28 年前、広島で学ぶ一人の留学生との出会いが機縁となり、留学生、就学生の生活支援や交流を目的として、「アジアの友と手をつなぐ広島市民の会」は誕生いたしました。

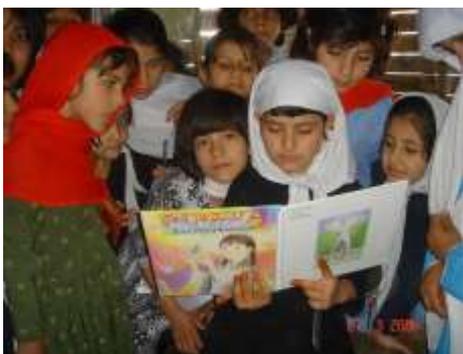
留学生との出会いと関わりを通じて、次第に

私たち自身の視野と関心が広がり、それにともなって活動の領域と幅が広がり、国内にとどまらず留学生たちの母国での活動も行うようになりました。NGO としての知識、経験、語学力、すべてが不足していた私たちが失敗を重ねながらも何とかプロジェクトを継続していくことができたのは、「はじめに人在りき」の信条のおかげでしょうか。各国の現場で出会った一人ひとりの人とのつながりを大切にして、丁寧に時間をかけて関係を構築し、その上で互いに協力して働くことを心掛けました。本当に多くの方々に助けられ支えていただきました。また、常に学び続ける努力も必要で、これらの経験は私たちを鍛え、自分たちの足元を見つめ直す多くの示唆も与えてくれました。平和都市広島の NGO としての役割は何か、世界とどのように関わって平和を実現しようとするのか、その在り方を問い直し、2004 年に「ANT-Hiroshima」と改称しました。

そして今、「世界の、そして一人ひとりの平和づくり」を目標に、原爆という悲惨な戦争の歴史とそこから立ちあがったヒロシマの経験とを、絵本や映像、被爆樹木などを通して伝えています。次世代の平和構築の担い手を育てるため、国内外の研修生の受け入れや平和教育のコーディネーターなどに取り組んでいます。一人ひとりの力は ANT（アリ）のように小さくとも、信頼のきずなをベースに世界各国の人びとや NGO などと協働することで大きな平和を実現できると信じて、これまでも、これからも日々活動を続けてまいります。この度は誠にありがとうございました。



ネパール・カトマンズの公立小学校



アフガニスタンの学校で



パキスタン・カシミールのサダコ
プライマリースクール